



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 3 年 7 月 30 日 第 114 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

平塚市障がい者自立支援協議会こども部会 医療的ケア児支援分科会 保護者座談会 参加報告

医療的ケア児支援法の令和3年9月の施行を控え、医療的ケア児への支援がより注目を集めています。令和5年度末までに、各地域で「保健・医療・障害福祉・保育・教育との関係機関等が連携を図るための協議の場を設ける」こととされていますが、平塚市は“障害児の機能訓練に関する協議の場”として以前からそれが設置されていた県内でも珍しい地域です。平成30年度には、保護者の代表者4名も加わり、平塚市障がい者自立支援協議会こども部会医療的ケア児支援分科会として再編されました。



昨年からのコロナ禍により、圏域内市町協議会とその部会では、どこも思うように活動ができない状況が続いていますが、医療的ケア児支援分科会では、保護者からの提案もあり、7月14日（水）に平塚市役所で保護者座談会が対面で開催されました。そこでは、保護者が日頃から感じている事柄について、自由に意見交換・情報交換が行われました。保育園の利用、災害対応等、いくつか話題が挙がりましたが、レスパイト関連では、

- 1週間のレスパイト利用中に、4回も病院に足を運ばなければならなかった。
- 1週間分の多量の荷物の準備が負担で、利用をためらってしまう。3か月前の予約が必要なところもあり、利用しづらい。
- 汚れてしまうので、一日3着の計算で、パジャマを21着用意した。でも、1週間も洗わないとカビが生えてしまう ⇒夜逃げみたいだね（笑）（他の保護者より）
- お願いして利用させていただいているので、物を言いづらい立場ではある。

といったお話がありました。今後に向けては、“座談会で話してすっきりするだけではなく、それを解決したい”、“これからも大変だと思うことを発信したい”、“専門家に私たちの困りを理解していただくために、写真などを活用して視覚的に生活実態を伝えていく工夫が必要だ”など、力強い意見が挙がりました。当事者の方々の困り感を丁寧に共有するところからスタートし、地域課題を整理して皆で考える、というこの取り組みが、明日を変えていく大きな原動力になると強く感じた座談会でした。

伊勢原市医療的ケア支援事業 始まる

平成30年度 伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会 第2回相談支援部会で開催した事例検討会（かながわ湘南西障福ナビと合同開催）で、行動障害があり医療的ケアを必要とする方の事例が報告されました。事例提供者の相談支援専門員は、厳しい環境下で生活する当事者・ご家族を目の当たりにしながらも、支援の方策が見つからず大変苦労されていました。検討の結果、残された可能性が整理され、これから取り組める新たな支援の方向性を見出し終了しました。ただ、医療的ケアを提供できる事業所は決して多くはない上に、行動障害の方の支援の専門性が必要となると、利用できる事業所を見つけることは市外も含めて至難の業であり、地域に必要な資源がないことは明らかでした。そのため、この事例は、平成30年度第1回伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会（及びH30第1回湘南西部圏域自立支援協議会）で地域課題として報告され、看護師を施設等に派遣するなど、現実的な解決策の研究について伊勢原市から説明がありました。

そして、令和3年4月、医療的ケアを必要とする人のサービス利用等を促進し、地域での自立生活の基盤の形成と負担軽減を目的に、看護師が配置されていない時間帯がある通所施設、作業所、保育所、学校等に看護師を派遣し、医療的ケアの支援を行う事業として、「伊勢原市医療的ケア支援事業」が開始されました。本事業は、医療的ケア児のみならず成人も対象であり、今後の活用によって、医療的ケアを必要とする方の社会参加の促進にも期待が集まります。

令和3年度第1回湘南西部圏域自立支援協議会 開催

令和3年7月28日（水）にZoom ミーティングを利用して開催しました。報告事項の圏域内各市町・市町協議会の今年度の取り組み予定では、重層的支援体制整備事業に関連する取り組みが報告されました。「地域共生支援センター」（秦野市）、「ことわらない相談窓口」（二宮町）は今年度から既に開始している事業で、今後の展開に大きな注目が集まります。医療的ケアについては、本誌1面（平塚市）、2面上段（伊勢原市）の内容の報告以外にも、医療的ケア児等コーディネーターに関連して、医療的ケア児支援者情報交換会（秦野市）、コーディネーターの配置に関する協議（伊勢原市）の報告がありました。その他では、日中サービス支援型共同生活援助事業所の新設に伴う、市町協議会で意見聴取の場を持つことについて課題提起があり、障害福祉計画との関連で議論し整理される必要があることを共有できました。協議事項の新型コロナウイルスへの対策では、各市町の64歳以下の障害のある人へのワクチン接種状況と在宅障害者のワクチン接種に伴う困りごとの情報などについて、また、ワクチン接種後の支援のあり方については、「ワクチン接種後の高齢者施設等における当面の感染予防対策について」（神奈川県高齢福祉課発出）の基本的な考え方を共有することができました。次回会議は令和4年2月を予定していますが、ワクチン接種後の感染状況次第で、対面開催を検討する予定です。



【あとがき】 いよいよ、オリンピックがスタートしました。チケットが当選した同僚を羨ましがっていた頃が懐かしいです。新型コロナの感染状況や緊急事態宣言など気にかかりますが、死闘を繰り広げるアスリートをテレビで観ていると、思わず応援してしまいます。がんばれ！ニッポン！